

科 目 名

生徒指導論

Principles for Student Guidance

3年 後期 2単位 選択

堀 川 治 城

概 要

今日の日本社会は、国際化、高度情報化、科学技術の発展、少子高齢化社会の到来など、急激な社会状況の変化の中で、人間関係が希薄化する傾向にあり、家庭・地域社会の教育力が低下し、学校が子供たちの多様な実態に十分対応できていないなど、様々な問題を抱えている。そこで、将来を充実して生きるために生徒に、将来の生き方への関心を深めさせ、社会人としてのあるべき姿をどのようにして身につけさせたらよいかを考察する。

目 標

生徒指導は、生徒一人一人の「人格の完成」を援助する目的で行われる。この目的を達成するためには、「生徒一人ひとりに対する理解を深め、よりよい発達を促す」ことにある。今日様々な課題を抱えた学校の現状を理解し、その課題を解決するための生徒へのかかわりを考える。

授業計画

テ ー マ	内 容
1 生徒指導の意義と概念	生徒指導の目標・原理、生徒指導と教育課程上の指導
2 生徒指導におけるパーソナリティの発達の理解	パーソナリティとは、パーソナリティ理解の観点、パーソナリティの形成、適応と不適応、青年期の特徴
3 生徒指導の原理と方法	生徒指導の3つの要素、生徒指導の人間観と生徒観、生徒指導における3つの視点、生徒の自己決定の重視
4 生徒理解と生徒指導	生徒理解の基本、生徒理解の実際、生徒理解の前提
5 生徒指導における教育相談	教育相談の目的、カウンセリングの基礎知識及び理論
6 問題行動への対応(1)	反社会的問題行動について
7 問題行動への対応(2)	非社会的問題行動について
8 心身の不適応を有する生徒への対応	学習障害について
9 学級活動と生徒指導	生徒指導と特別活動、生徒指導と学級活動
10 進路指導と生徒指導(1)	進路指導と生徒指導、進路指導の現状と問題
11 進路指導と生徒指導(2)	進路指導の理論、進路指導の実践
12 性・健康教育と生徒指導	健康教育、性教育と生徒指導
13 地域や他機関との連携による生徒指導	家庭との連携、地域との連携、関係諸機関との連携

授業方法

テキストを中心に講義・質疑を行う。資料により、現在の教育上の諸問題等についても考える。

評価方法

定期試験、出席状況、提出物等により総合判定し評価する。

教 材

テキスト：わかりやすい生徒指導論 改訂版（稲垣應顕・犬塚文雄 編著：(株)文化書房 博文社）